

第6回 JaF-DaF フォーラム

この会は、ドイツ語圏大学日本語教育シンポジウム (JaH, <http://www.japanisch-an-hochschulen.de/>) の開催に合わせ、ドイツにおける日本語教育および日本におけるドイツ語教育の現状、問題点について情報交換を行ない、今後の国際交流、研究協力等に関する自由な意見交換、ネットワーク作りの場をつくることを目的としています。そのため、日独の共同プロジェクト等、実践報告の発表を募集いたします。今回は長年、ドイツ語教育・日本語教育の両方の現場で活躍されてこられた平高史也先生にご自身の経験を振りかえっていたき、今後の展望についてお話いただく基調講演をお願いしました。

ドイツ語教育、日本語教育等に関心のある方、日独の共同研究に興味をお持ちの教員、学生の方の参加をお待ちしております。なお、同日午後から JaH への参加を希望される方は、別途 HP よりお申し込みください。

第6回 JaF-DaF フォーラム プログラム (案)

日時：2019年3月1日(金) 10:00-12:30

会場：デュイスブルク＝エッセン大学、Mercatorsaal (Lotharstraße 57, 47057 Duisburg、午後からのシンポと同会場)

主催：JaF-DaF Forum 実行委員会 共催：日本独文学会ドイツ語教育部会

10:00-10:05 趣旨説明：杉原早紀 (ハンブルク大学)

10:05-11:05 基調講演：平高史也 (慶応義塾大学)

「言語教育は人を幸せにするのか」

休憩

11:10—11:40 発表(1)：楠部千佐子 (ハノーファー大学) 「心に火をともし、ことばの教育 - シュタイナー、英語教育学、Peace Education の視点から - 」

11:40—12:10 発表(2)：浅野友紀 (チュービンゲン大学) Was Hänschen nicht hört, hört Hans nimmermehr? - Arbeitsgedächtniskapazität und Fremdspracherwerb

(Relationships between Working Memory and Second Language Acquisition)

12:10-12:30 総合討論＋各参加者による情報交換

司会：林良子（神戸大学）・Alexander Imig（中京大学）

基調講演者紹介：

平高史也（慶應義塾大学総合政策学部教授）

東海大学留学生教育センター助教授、ベルリン・フンボルト大学国際交流基金派遣専門家を経て現職。

文学博士。専門は、社会言語学、言語教育（特にドイツ語、日本語）、言語政策

主な著書（作）に、「ウエルフェア・リングイステイクスから見た言語教育」『社会言語科学』（第16巻第1号、6-21）2013年、『多言語主義社会に向けて』くろしお出版、2017年（共編著）など。

https://vu.sfc.keio.ac.jp/faculty_profile/cgi/f_profile.cgi?id=32a01f0bf6267834

（以上）